

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「読むこと」については、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができています。一方で、「書くこと」については、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられます。
- ・算数の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「変化と関係」については、伴って変わる二つの数量関係が、比例の関係ではないことを証明するために、表の中の適切な数の組を用いることができています。一方で、「図形」については、正三角形の意味や性質についての理解や、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「朝食を毎日食べていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」について高い数値を示しています。また、国語と算数の書く問題について「最後まで解答を書こうと努力した」という児童の割合が高いです。
- ・課題となる項目
「新聞をほとんど、または全く読まない」という児童の割合が高いです。
「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3日以上使用した」という児童の割合が全国に比べて低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・「書くこと」の学習では、教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示する授業を展開し、図表やグラフが自分の考えを深めるとともに、相手にとってもしっかりと伝わり、理解しやすい文章になることを実感し、活用できるよう指導します。また、書いた文章の感想や意見を学校の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けるなどの学習活動を充実させます。
- ・「図形」の学習では、具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導します。また、図形を構成する要素や構成する要素の間の関係に着目して図形を観察したり、操作したりする活動を通して、図形の意味や性質を見いだしたり、それらの操作について、図形の意味や性質を基に考えたりする学習活動を充実させます。
- ・難しくても最後まで粘り強く取り組むというよさを認め、引き続き児童の自尊感情を高めていきます。
- ・学習内容の確実な理解と定着を図り、友達との対話を通して学びを深めるために、PC・タブレットなどICT機器を効果的に利用した授業改善に取り組みます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、子どもたちが自ら学習に取り組めるよう声をかけてあげてください。
- ・学校での出来事や、新聞・TVのニュース等の内容を話題として、家庭で会話をする時間を取りましょう。
- ・PCやタブレットなどのICT機器を使った学習機会が増えています。利用上のルールや情報モラルが守れるように、家庭で話し合ったり、守れているか確認したりする機会を作ってください。